

第249回患者塾は「腎臓の病気をテーマに、腎臓と糖尿病や高血圧症など他の疾患との関係や、たんばく尿が出た場合の対応について、専門医が見解を示した。新型コロナウイルス感染症防止のため、パネリストと小野村健太郎塾長がメールで意見交換した。【まとめ、奥田伸一】

福岡市の女性(52)

糖尿病で通院しています。友人から「糖尿病はいろいろな病気を併発するけれど、慢性腎臓病に一番気を付けなければならぬ」と言われました。慢性腎臓病は早期発見と治療は可能ですか？

定期的な尿検査を

宮本さん 糖尿病が関係する慢性腎臓病が糖尿病性腎臓病で、早期発見と早期治療が可能です。予防のためには、定期的に尿検査を受けてください。

久間さん 糖尿病による腎臓の障害を早期発見するためには、尿アルブミン量(尿たんばくの一種)を測定することをお勧めします。お尋ねの方はGFRが80程度なので、障害は少ないか、ほとんどないと思います。

長谷川さん 慢性腎臓病は尿の異常の他、血液検査などからも判明します。早期発見には年1回は健康診断を受け、異常を指摘された場合、まず指定

大分市の女性(48)

付いた時はかなり進行していることも少なくありません。心配事や疑問があれば、主治医に確認しましょう。

むくみあれば腎臓内科に

出ます。心臓や肝臓は異常ありません。受診するのは、腎臓内科ですか、それとも泌尿器科ですか。

長谷川さん 尿たんばくやむくみが出てくる場合は、まず腎臓内科を受診したらよいと思います。腎臓内科も泌尿器科も腎臓の病気を担当しますが、腎臓内科は内科領域、泌尿器科は外科領域を主に診ています。しかし境界はあいまいで、医師や看護師もどちらに相談したらよいのか悩むことがあります。検尿で異常が見つかった場合、健康診断の結果表には、たんばく



長谷川さん

長谷川さん 尿たんばくやむくみが出てくる場合は、まず腎臓内科を受診したらよいと思います。腎臓内科も泌尿器科も腎臓の病気を担当しますが、腎臓内科は内科領域、泌尿器科は外科領域を主に診ています。しかし境界はあいまいで、医師や看護師もどちらに相談したらよいのか悩むことがあります。検尿で異常が見つかった場合、健康診断の結果表には、たんばく

腎臓の病気

今回のテーマ

尿の場合は内科や腎臓内科、血尿の場合は泌尿器科を受診するよう書かれていることが多いです。しかしどちらを先に受診しても問題はないと思いますので、近くの病院を探して受診してみましよう。

福岡県古賀市の男性(73)

高血圧症と脂質異常症で通院して薬をもらっています。かかりつけ医で血液検査をしたところ、老廃物の一種であるクレアチニンの値が1.8で「腎臓が少し弱まっている」と言われました。このまま

紹介状もらい専門医へ



久間さん

久間さん 年齢とクレアチニン値から推測すると、腎臓の機能を示すGFRは30程度と思われます。60を下回ると慢性腎臓病です。今まで腎臓内科に行ったことがなければ、受診した方がよいです。

宮本さん クレアチニン値が受診日の3カ月以上前からこの値であれば、慢性腎臓病と診断されます。病状はステージ1〜5に分類

て受診してみましよう。久間さん 健診の尿検査は、試験紙法といって尿の濃さに影響されやすいです。腎臓障害が無くてたんばくが出ていないと判断され

け医で血液検査をしたところ、老廃物の一種であるクレアチニンの値が1.8で「腎臓が少し弱まっている」と言われました。このまま様子を見てよいのでしょうか？

久間さん 腎臓の機能を示すGFRは30程度と思われます。60を下回ると慢性腎臓病です。今まで腎臓内科に行ったことがなければ、受診した方がよいです。

宮本さん クレアチニン値が受診日の3カ月以上前からこの値であれば、慢性腎臓病と診断されます。病状はステージ1〜5に分類

患者塾

医療の疑問にやさしく答える

ることがあるため、尿を直接分析する必要があります。尿たんばくの原因はさまざまですが、血液から尿を作る「糸球体」に障害がある場合が多いです。

様子を見てよいのでしょうか？ それとも専門医を受診すべきですか。尿に異常はなく、自覚症状もありません。

久間さん 腎臓の機能を示すGFRは30程度と思われます。60を下回ると慢性腎臓病です。今まで腎臓内科に行ったことがなければ、受診した方がよいです。

宮本さん クレアチニン値が受診日の3カ月以上前からこの値であれば、慢性腎臓病と診断されます。病状はステージ1〜5に分類

小野村さん 高血圧症と脂質異常症の安全で効果的な治療のためにもぜひ専門医に腎臓のチェックをしてもらってください。

出席された皆さん

- 長谷川恵美さん—産業医科大若松病院循環器内科・腎臓内科診療科長
久間昭寛さん—産業医科大医学部第2内科学腎臓内科グループ腎センター副部長
宮本哲さん—産業医科大医学部第2内科学腎臓内

- 科グループ腎センター部長
司会 小野村健太郎さん—おのむら医院院長、元北九州市立大大学院特任教授(福岡県芦屋町、内科)

(掲載について毎日新聞社許諾済、無断転載(コピー、スマートフォン等での撮影)禁止)